

教育プログラム・コースの概要

大学名等	福島県立医科大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	消化管腫瘍マネージメントコース（正規課程）（テーマ③）						
対象職種・分野	医師, 薬剤師, 看護師, 研究者						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	<ul style="list-style-type: none"> 消化管腫瘍を中心とした、免疫チェックポイント阻害薬の使用や有害事象への対応に精通した医師、医療従事者 包括的がんゲノムプロファイリング検査に基づく個別化医療に精通した医師、医療従事者、研究者 遺伝性腫瘍や包括的がんゲノムプロファイリング検査に伴う二次的所見の解釈とその対応に精通した医師、医療従事者、研究者 						
修了要件・履修方法	単位取得（30単位） 特論4単位、特別研究演習8単位、研究指導4単位、共通必修科目2単位、選択科目12単位かつ、博士論文審査と最終試験の合格。						
履修科目等	〈必修科目〉 腫瘍専門医特論（4単位）*、腫瘍専門医特別研究演習*（8単位）、研究指導（4単位）、共通基盤教育科目から2単位（総合人間学特論1単位を含む） 〈選択科目〉 医学特論演習（10単位＝5科目）、大学院セミナー**（2単位＝20回聴講、ポスター発表） *臨床腫瘍学特論I～II（4単位）、臓器別臨床腫瘍学特論（4単位）、腫瘍関連学際領域特論（2単位）次世代腫瘍予防学特論（2単位）を含む。**がんプロセミナー含む						
がんに関する専門資格との連携	外科専門医（日本外科学会学会）、消化器外科専門医（日本消化器外科学会）の研修施設として認定。						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<ul style="list-style-type: none"> 福島県立医科大学附属病院にて免疫療法やがんゲノム解析に基づいた個別化療法の実地臨床に携わる。また基礎的細胞実験、さらには、がん手術切除サンプルを用いてのマルチオミクス解析をおこない、臨床病理学的因子を合わせて個別化医療の推進に関わるバイオマーカー研究や新たな創薬を目指す基礎研究に従事する シンガポール大学と大学間交流協定（MOU）締結済み 						
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> 福島県立医科大学医学部消化管外科学講座の教授以下、教員10名程度 消化管外科、腫瘍内科、放射線治療科、臨床腫瘍センター、がんゲノム医療診療部、遺伝診療部、臨床研究イノベーションセンター、先端臨床研究センター、医療産業トランスレーショナルリサーチセンターの各領域専門医が共同で指導する。 						
修了者の進路・キャリアパス	<ul style="list-style-type: none"> 福島県立医科大学附属病院や福島県内のがん診療連携拠点病院に勤務し次世代の腫瘍外科を普及、実践する 修了者は地域の拠点病院に勤務しつつも福島県立医科大学との連携やローテートを通じて技量や知識のアップデートを常に受けることができる 外科専門医、消化器外科専門医取得など 						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	0	2	2	2	2	2	10
受入目標人数設定の考え方・根拠	県内の8つの地域がん診療連携拠点病院に外科・消化器外科専門医を最低1人ずつ新規に配置することを目標にすると、今後5年間で10人養成する。また、過去の大学院志願者数及び入学ニーズ調査から毎年度3から4人の志願者が見込まれるため、受入れ目標人数を2人と設定。						